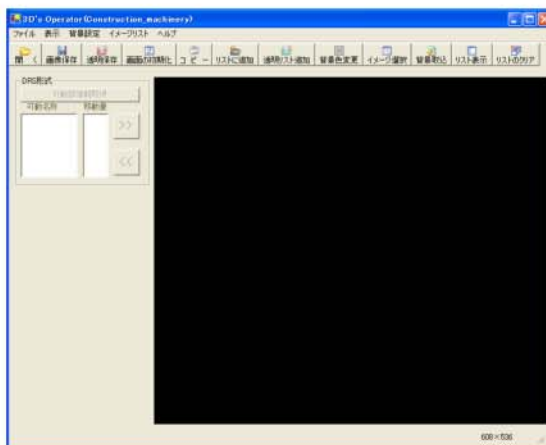


基本編

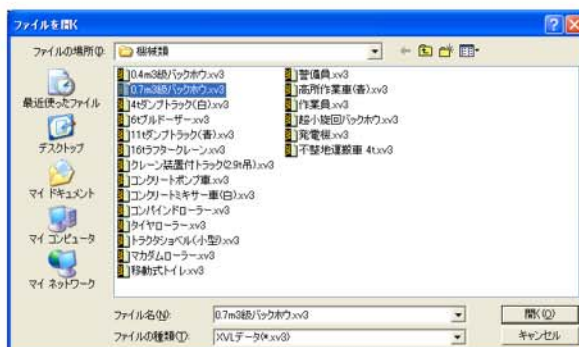
デスクトップのショートカットから3D'sOperatorを起動します。

起動画面

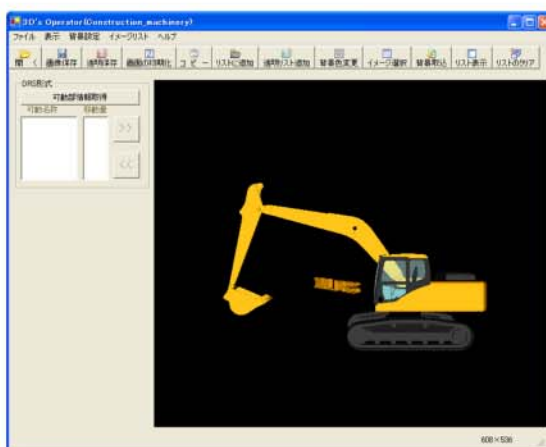


ボタン列一番左の[開く]をクリックします。
ファイルの選択画面が表示されます。

データはCD内のdataフォルダに収納されています。(ダウンロードされた方はXVLDATA)
(注: 実際にお使いになる場合にはdataフォルダをハードにコピーされる事をお勧めします)



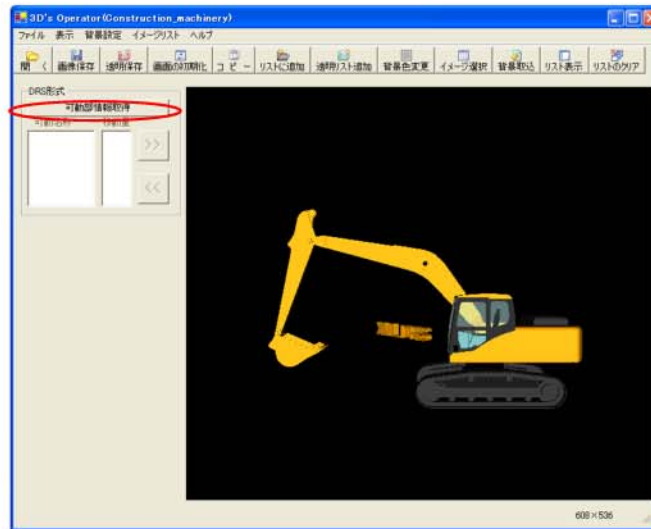
例として機械類フォルダの0.7m3バックホウを選択して開いてみます



読込が始まりデータが表示されます。

データの読込が完了すると画面左上の
[可動部情報取得]ボタンが有効となりますのでクリックしてください。

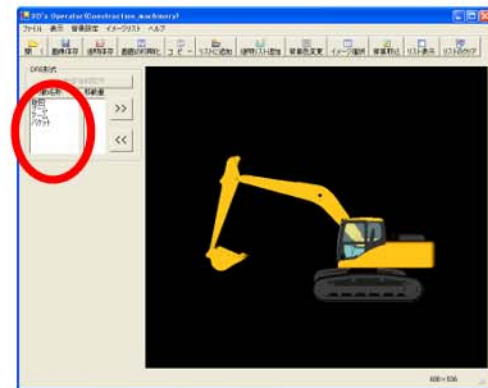
(注: データが完全に読込まれないうちにクリックするとエラーが発生する事があります)



画面中央に以下の画面が表示されますので[OK]を押してください
同時にデータ中央にある“XVLDRS”文字が消えたと思います。



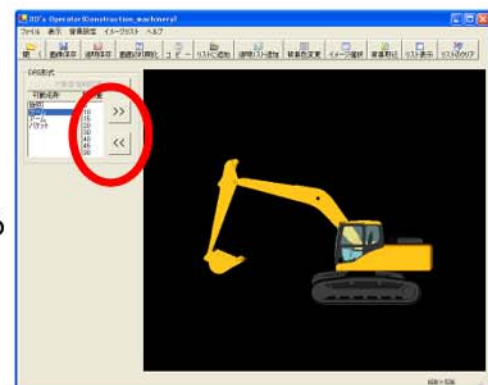
可動名称に可動部位が表示されますのでとりあえず
ブームを選択してみてください



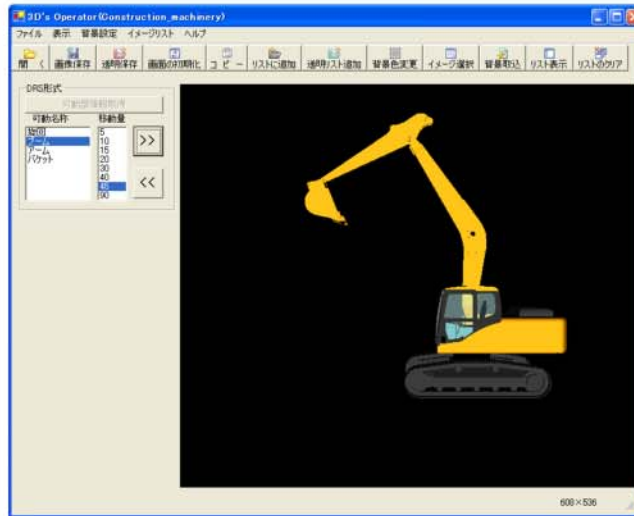
移動量に5,10,15,20,25,30,,35,40,45,90
という数字が現れます。この数字は角度を現します。

(旋回などの回転移動では上のような角度、
クレーン伸縮のような平行移動では8段階の数字が
移動量に表示されます。また、表示非表示を切り替える
データもあります。)

それでは45を選択して右にある上下に並ぶボタンの
どちらかをクリックしてください



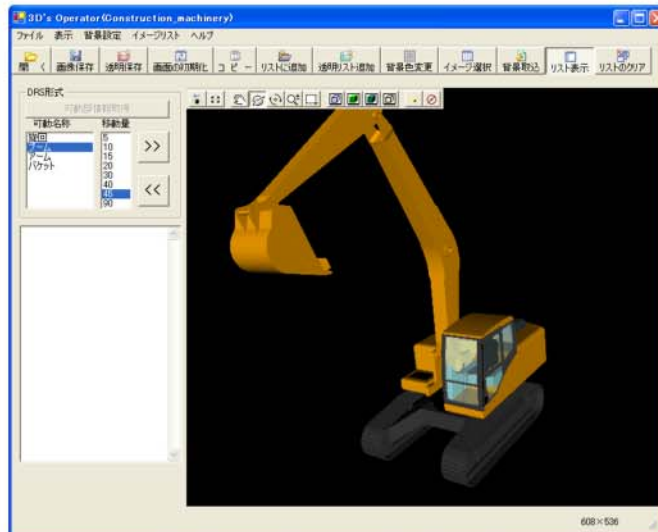
バックホウのブームが持ち上がる(下がる)の動作をおこなったと思います。



他の旋回やアーム、バケットなども操作してみてください。
また他のデータも読み込んでみて試してみてください。
データそれぞれに工夫をしますので楽しめると思います。
以上が当社オリジナルデータの使い方です。

XVL Playerの使用

マウスカーソルをXVL Player内(黒い画面)に持っていくとカーソル形状が変わりデータの回転が自由に行えるようになります。XVL Player内でドラッグをしてみてください。



XVL Player内に表示されるコマンドボタンで移動形式、表示形式などが変更されます。
順番に切り替えて使用してみてください。
(注:お使いのパソコンの仕様によっては表示されない機種もあります)

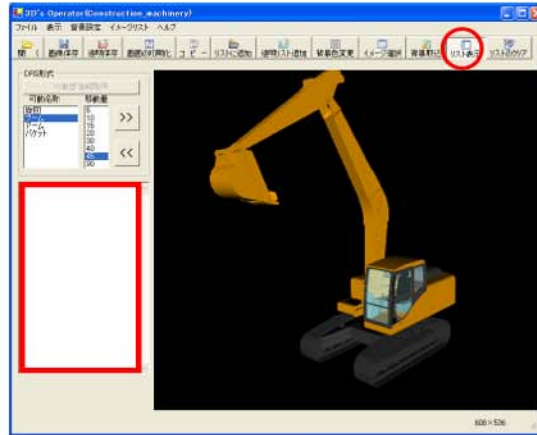


移動形式はショートカットキーにも対応しています。
[Shift],[Z],[X],[C]でそれぞれ押しながらマウスを動かすと実感できます。
慣れるとこちらのほうが細かい配置ができます。

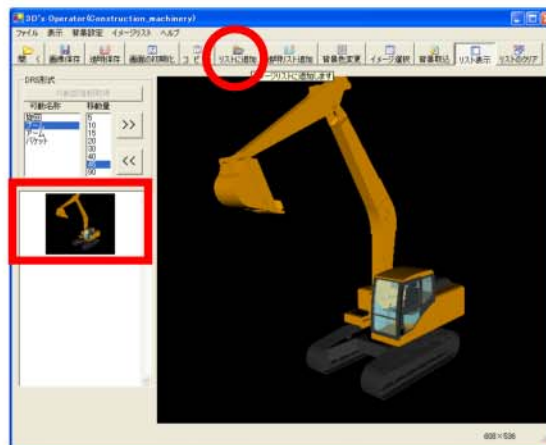
イメージリスト

ボタン列右から2番目の[リスト表示]をクリックすると画面左にイメージリストが表示されます

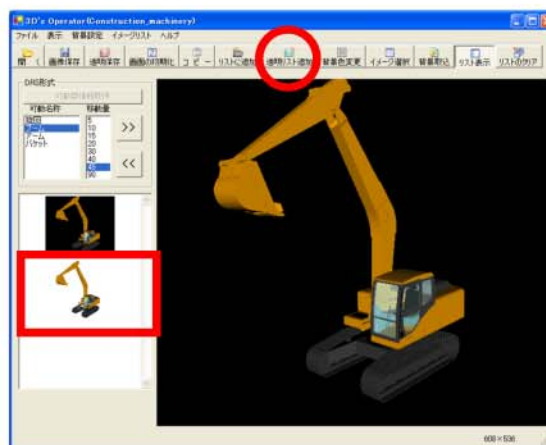
イメージリストは画像の一時保管場所と考えてください



ボタン列左から6番目の[リスト追加]をクリックしてください
現在のみたままの画像がイメージリストに保管されます。



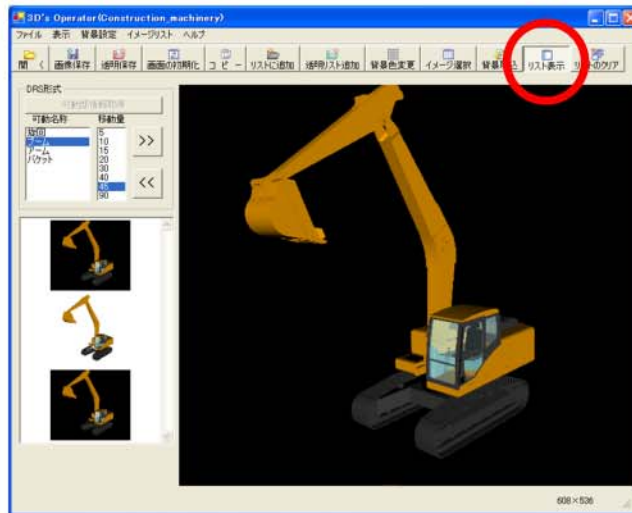
ボタン列左から7番目の[透明リスト追加]をクリックしてください
背景色を透過した画像がイメージリストに保管されます。



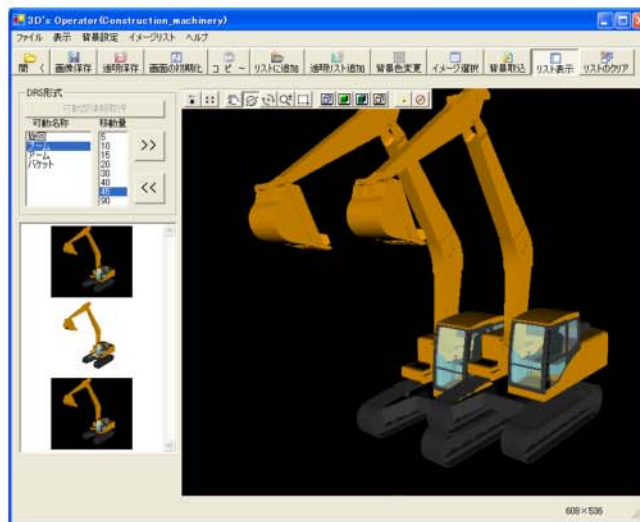
注: 背景色と同色の色がデータ側にあった場合はその部分も透明化されますので
事前に[背景色変更]でデータ色と重ならない色を選択しておいたほうが良い結果となります

背景設定

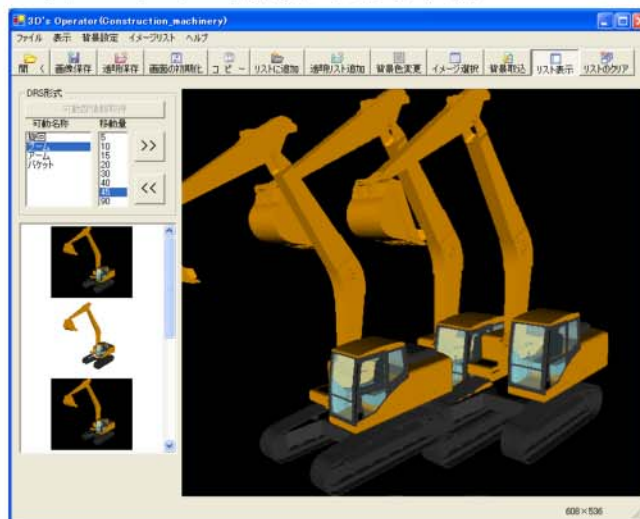
ボタン列右から3番目の[背景取込]をクリックすると現在のみたままの画像が背景として設定されます。また自動的にイメージリストに保管されます



見た目は変わらないとおもいます。バックホウを移動させてみてください機能が理解できます。

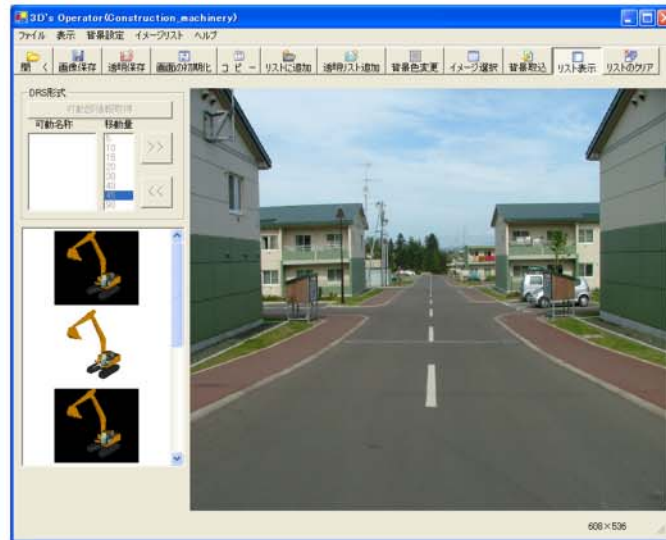


背景取込は何度でも繰り返す事ができます。
(注: 繰り返すごとに画像は荒くなってしまいます。
次バージョンで解決いたします。)

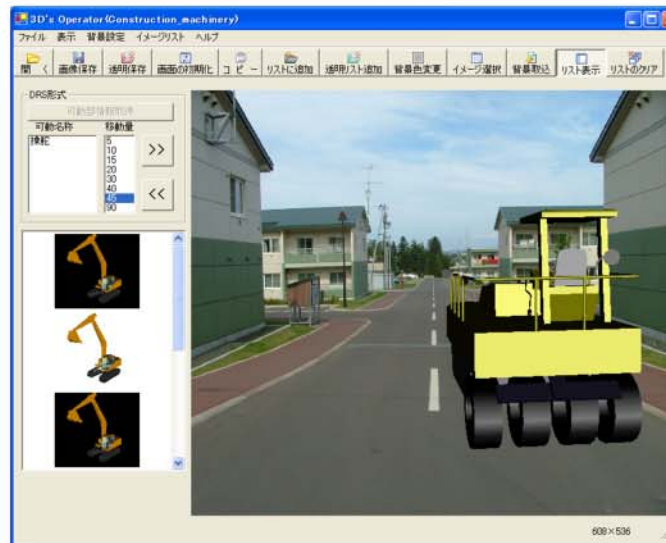


背景設定

ボタン列右から4番目の[イメージ選択]をクリックするとjpg形式の画像を背景として設定することができます

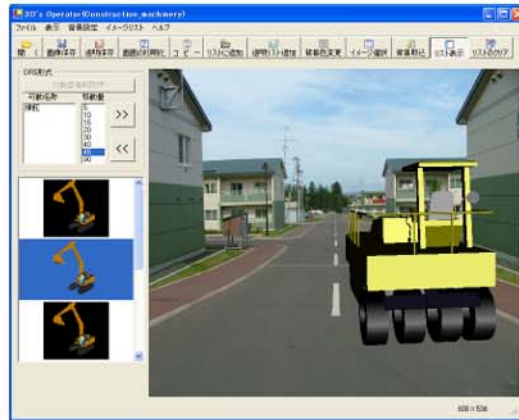


この状態でXVLDRSデータを読み込んで作業イメージを作成していきます



Excelへのデータ貼り付け

イメージリスト内の画像を一度クリックしてみてください。
回りが青色に変化して選択された事をあらわします。
この状態でイメージリスト画像上で右クリックするとメニューが表示されます



右クリックメニューの中からExcelに貼り付けをクリックしてください。
Excelの選択されているセルを左上としてデータが貼り付ける事ができます。
(注: Excelを事前に立ち上げておいてください)

